

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせてつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

昭和60年9月15日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)  
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111



## 市民体育館の建設に着手

健康づくりの拠点として

### 61年9月末に完成予定

#### 京都国体の体操会場

京都国体の体操会場となる市民体育館の起工式が9月7日、森本町小柳の建設地で行われました。工事が完成するのは来年9月末の予定です。体育館は、南側に建設される市民のふれあい広場とともに、健康づくりや体力向上の拠点として広く市民の皆さんに利用されるよう期待されています。

昭和63年京都国体の体操会場となる市民体育館の起工式が9月7日、森本町小柳の建設地で行われました。工式が9月7日の午前10時30分から、森本町小柳28-1の建設地で、関係者出席のもとに行われました。工事が完了するのは、来年度の9月末の予定です。市民体育館は、敷地9440平方メートルの上に、鉄筋コンクリート造りの2階建てで建設され、延べ面積は6694平方メートルあります。屋根は大空間を支える技術を取り入れた、立体トラス構造で、デザインや美観の面で様々な配慮がなされ、総工費は14億円です。同体育館の主な設備は、

床面積2018平方メートルの大体育室と、床面積680平方メートルの小体育室のほか、トレーニング室、会議室、器具庫、ロビー、ホールが備えられています。また観覧席は、固定席が1500人、立ち見席を含めると2000人以上収容できます。観覧席後部通路はランニングコースとしての機能も果たします。同体育館南側、鶏冠井町十相には、体育館と一体となった、面積7500平方メートルの公園、市民のふれあい広場が建設されます。

市民体育館は、かねて和五十八年度から土地所から市民待望の施設であり、このたび、建設に着手できますことは、市民のみならずとも喜びに耐えないところでありませう。市民体育館の建設につきましては、昭和61年10月1日、向日市長 民秋 徳夫が、市民体育館の建設に着手しました。

ワク入れをする民秋市長

### 市民のふれあいの場となる

#### 市民体育館建設にあたって

市民体育館は、かねて和五十八年度から土地所から市民待望の施設であり、このたび、建設に着手できますことは、市民のみならずとも喜びに耐えないところでありませう。市民体育館の建設につきましては、昭和61年10月1日、向日市長 民秋 徳夫が、市民体育館の建設に着手しました。



向日市長 民秋 徳夫

完成後は、市民の健康づくりの拠点として、市民の体力の向上を図り、健康の増進を目的とし、市民のふれあいの場として広く多目的にも

10月1日は、国勢調査。調査票は調査員がお手もとに届けることになっています。この調査票についてのお問い合わせは、お手数ですが、市役所の中の国勢調査担当係までご連絡ください。また、調査票はコンピューターによって集計されます。マークや文字ミス・記入漏れに注意の上、用紙が汚れたり、丸まったり、折れたりすることがないように気をつけてください。10月7日までに、調査員が調査票を集めに伺いますので、できるだけ直接お渡しく下さい。

皆さんの積極的なご協力をお願いします。



コンピューターで処理。だから、ね、調査票は折らないで。

10月7日までに調査票を集めに伺います。

